エコウイングあかし

「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2020年 9月 5日（土） 9時00分～ 12時00分		
場所	金ヶ崎公園	天候	晴れ時々曇り
参加者	ｴｺｳｲﾝｸﾞ会員／6名、 事務局／2名　　計／8名		

● 午前

9月になりましたが、今年は残暑が続いていて、この日も明石の最高気温は31℃まで上がり、湿度も高く汗ばむ天気でした。その中を朝9時に8名のメンバーが公園入口に集まりました。その後、会議室に立ち寄り蚊取り線香を準備して、いつものとおり公園内のコースを巡って昆虫を中心とした自然観察をしました。

最近、どこに行っても昆虫の姿が少ないのが気掛かりですが、この日も種類数はある程度は確認できましたが、個体数が非常に少ない状況でした。以前は、この時期は草むらに入るとたくさんのバッタが跳び出し、チョウやトンボもたくさん飛び回っていたのですが、最近はほとんど姿を見せません。

今日も、新型コロナウイルスの感染防止と熱中症の予防のため、午前中の自然観察だけ実施し、12時に活動を終了しました。

● 次回の活動は、10月3日(土)の予定です。秋らしい快適な気候になり、活動を楽しめることと思います。久しぶりに里山の整備作業も再開する予定です。
多数の皆様のご参加をお待ちしています。

自然観察（その1）

自然観察（その2）

自然観察（その3）

自然観察（その4）

今日の自然観察日記（その１）

今日は、個体数は少なかったもののチョウのなかまの種類が色々と確認できました。ただ、２日ほど前の台風９号の影響で風雨が強かったせいか、翅が傷んだものが目立ちました。

トンボのなかまもいくつか姿を見せました。ただ、例年この時期に観察できたウチワヤンマは確認できませんでした。

そのほかにカメムシやコウチュウ、バッタ、カマキリ、ハチなどのなかまを確認しました。ヤマトタマムシも確認しましたが、残念ながら死骸でした。参加者の一人がコガタスズメバチの巣を見つけました。

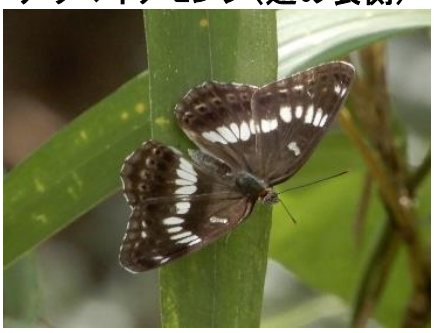
セミのなかまは、アブラゼミを撮影できましたが、ミンミンゼミやツクツクボウシの声も聞こえました。

ナガサキアゲハ

キタキチョウ

ホシミスジ

アサマイチモンジ（翅の表側）



アサマイチモンジ（翅の裏側）

ルリタテハ

チャバネセセリ

ムラサキシジミ

ウラギンシジミ

ガのなかま

シオカラトンボ（オス）

リスアカネ♂

今日の自然観察日記（その2）

セスジイトトンボのペア

キマダラカメムシ

ナガメ

アベマキの樹液に集まるシラホシハナムグリ

ヤマトタマムシの死骸

ショウリョウバッタ

オンブバッタ

エンマコオロギ

オオカマキリ

オオスズメバチ

コガタスズメバチの巣

アブラゼミ

今日の自然観察日記（その3）

野鳥では、ふもとの北浦池にカイツブリの幼鳥が確認できたほか、公園内にはコサメビタキと常連のハクセキレイが姿を見せました。

そのほかの生き物では、両生類のトノサマガエルとニホンアマガエル、爬虫類のニホントカゲとニホンカナヘビを観察しました。ニホントカゲはまだ小さく子供でしたが、尻尾が短かったので何かに襲われて切れたものが再生したようです。

公園入口の駐車場で、大きなアメリカザリガニを見つけました。最近の雨で水路から上がって来たのか、子供たちが捕らえたのが逃げ出したものではないかと思われます。

カイツブリの幼鳥

コサメビタキ

ハクセキレイ

トノサマガエル

ニホンアマガエル

尻尾の短いニホントカゲ

ニホンカナヘビ

アメリカザリガニ

植物では、ナンバンギセルのつぼみを見つけました。残暑が続いているためか、花期が遅れているようです。また、ヘクソカズラの花も咲いていました。かわいそうな名前ですが、花は可憐です。

ナンバンギセルのつぼみ

ヘクソカズラの花